



皆さん、絵本は好きですか？絵本には沢山の魅力が詰まっています。今年度は、絵本に関する書籍を活用しながら《絵本について》ちょこっとお伝えしていきたいと思います。



7月の絵本紹介



『みずちゅぽん』

新井 洋行作・童心社

この時期にこそ、沢山触れて仲良くしたい“水”。この絵本では、水が次々にぽと、ぽた、びしゃ！と落ちてきたり、勢いよくどっぽーん！と落ちてきたり…。色々な水の音が楽しめます。また、その水の音を真似して言う事を、楽しむ姿も見られます。絵本のみならず、実際の体験も加われば、より五感を使って楽しめるようになると思います。

『あつ あつ あつ』

垂石 眞子作・福音館書店

夏になると、毎日口にしてしまう「あつ あつ あつ」のセリフ。ペンギンも暑さに疲れて日陰を探しています。やっと見つけた日陰は、実はアザラシの影。アザラシだって涼みたい、と一緒にまた日陰探しです。その後、カバ、ゾウ…と順に動物達が出てきて日陰を探します。そして最後は広い海へざぶーん！動物達と一緒に、涼やかな気持ちになりますよ。

【絵本のテストとして、絵だけ見ていくことは、非常に有効な方法です。絵本を選ぶのは難しい、どう評価していいかわからないというときは、まず虚心に、絵だけじっくり見ていく事から、おはじめになるといいのではないのでしょうか。】

【絵本のよしあしを見きわめる目を養うために、満25歳以上の絵本を読みましょう】

～『えほんのせかい こどものせかい』松岡 享子 文春文庫より～

絵本は、新刊もどんどん発行され、選ぶのに困る時がありますね。そんなとき、松岡さんが書かれているように、まずは絵だけを見ることや、長く読まれているものを選ぶ、というのは絵本選びの良い方法の1つになると思います。大人はどうしても、文章から読みがちですが、まずは絵だけを見てみませんか？それで、話の流れが分かるものは、良い絵本と言われています。（もちろん、その後に文章を読んでマッチしているか、も大事ですけど。）また、長く読み継がれている絵本は、楽しめる可能性が高いと思います。何故なら、“子どもが選んできている”という事ですから。良い絵本として子どもが保証済という事です。沢山の絵本があり、手に取ることの出来る図書館で、まずは大人が絵本との出会いを楽しみ、そして、お子さんと一緒に味わうというのもお勧めします。

